

2020年6月10日

Eコマースと宅配市場の拡大（コロナ禍で加速）

ベトナムにおける電子商取引（Eコマース）市場の拡大に伴い、宅配市場も急速に成長しています。コロナ禍の影響もあり、その伸びはさらに加速しています。直近時のデータでは、Eコマースによる売上高は小売り全体の6%に相当する80億ドルに上り、2025年までの成長率は40%とされています。また、ベトナム物流業者協会によると、今後5～10年でEコマースに付随する宅配市場は約100億ドルの規模になると推定されています。そのため、配送サービスを担う国内外の企業が数多く参入し、市場シェアを獲得するためにしのぎを削っています。現在、Eコマースに関係する宅配事業者は以下の2つのグループに分類できます。



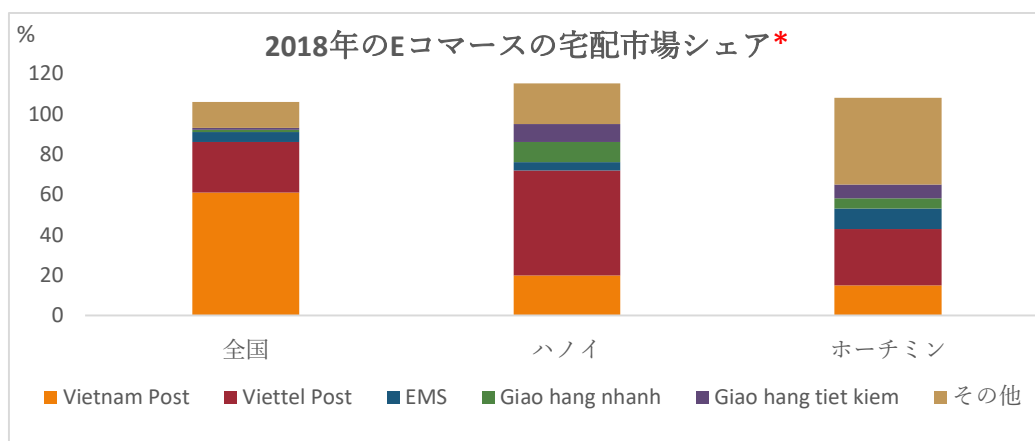
- ① **Eコマース業者および小売業者**：ラザダ（Lazada）とティキ（Tiki）は、それぞれ自社のLazada E-Logistics ExpressとTiki Nowを通じて受注から配達までの業務（Eフルフィルメント）を遂行することができる大手電子商取引業者です。また、テーゾイジードン、ディエンマイサン、FPT ショップといった小売業者も幅広い店舗ネットワークを活用し、独自の配送網を確立しています。しかし、Eコマースの市場規模が拡大（物量および多岐にわたる品揃え）と全国に展開する配送に対応するために、Eコマースの大手業者でもサード・パーティー・ロジスティクス（3PL；物流業務の第三者委託）の事業者と連携する必要があります（例：Tiki、Lazada、Shopee、Sendo）。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

② **3PL 事業者**：Eコマースの宅配を担う 3PL 事業者は以下の通りです。

- ・国内の伝統的郵便グループ：ベトナム郵政総公社(Vietnam Post)、ベトナム郵便 (Viettel Post)、ベトナム・ポスト・エクスプレス (EMS)
- ・国内技術系スタートアップグループ：ザオハンニヤイン (Giao hang nhanh)、ザオハン ティエトキエム (Giao hang tiet kiem)、Ship 60、AhaMove、Sship
- ・外国企業グループ：DHL (ドイツ)、Best Inc (中国)、GD エクスプレス(マレーシア)、InExpress (イギリス)、J&T Express (香港)、Lalamove (香港)、Ninja Van (シンガポール)
- ・配車・配達グループ：Grab、Go-Viet、Be Group
- ・フードデリバリー・グループ：Now.vn、Loship、Vietnammm



*1つの販売事業者は複数の宅配業者を雇う可能性があるため、合計は100%を超えます。

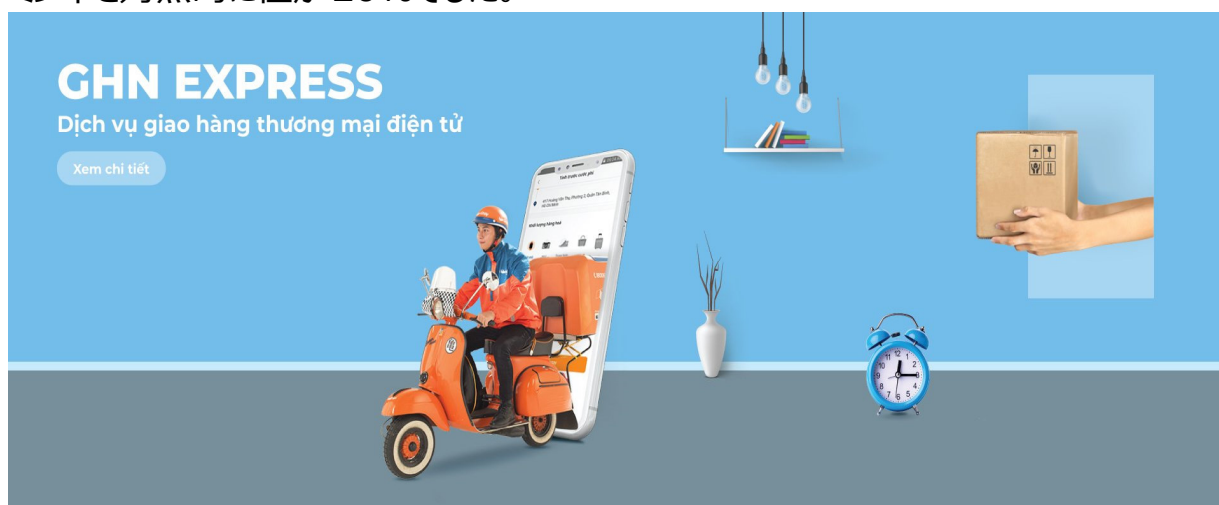
出所：ベトナム電子商取引協会 (VECOM)

一般的に、Eコマースに伴う宅配市場は 3PL 事業者が支配的な存在になっています。Eコマースにかかわる宅配事業者は、積極的に追加投資を行い近代的なテクノロジーを駆使しており、Eコマースの宅配分野における競争はますます激化しています。Vietnam Post および

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

Viettel Post は依然として圧倒的な市場シェアを維持しているものの、大規模な E コマース市場を擁するハノイとホーチミン市では、他の事業者にかかなりの数の顧客を奪われています。ベトナム電子商取引協会の調査（2018 年）によると、特にホーチミン市では、宅配業者間の競争が一段と加速しています。同市では、最大手の Viettel Post でもその市場占有率約 28%に過ぎず、次に Vietnam Post の 15%、EMS の 10%、Giao hang tiet kiem の 7%、Giao hang nhanh の 5%、と続き、一方でその他業者のシェアは実に 43%を占めています（1 販売事業者が複数の宅配業者を使うため合計は 100%を超える）。一方ハノイでは、Viettel Post の市場シェアは 52%と圧倒し、Vietnam Post、Giao hang nhanh、Giao hang tiet kiem、EMS はそれぞれ 20%、10%、9%、4%占め、その他の宅配業者は、ホーチミン市と対照的に僅か 20%でした。



配達時間は宅配事業者の優劣を決する重要な要素ですので、迅速な配達競争はますます激しくなっています。

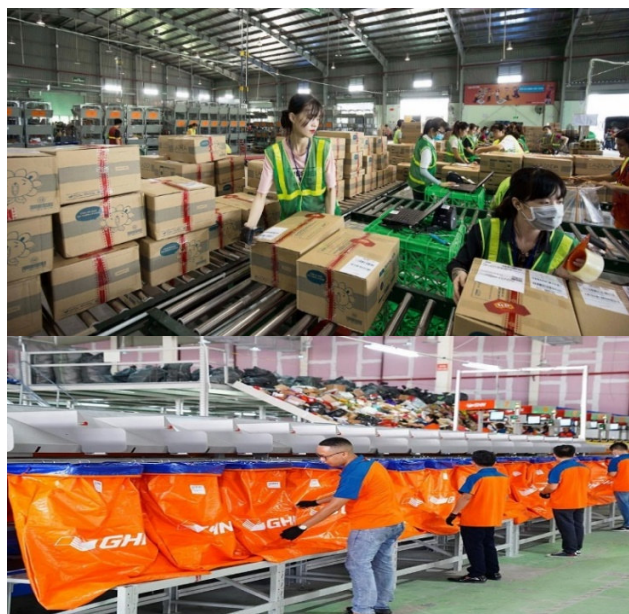
- 主要な E コマース業者と小売業者は、より短い時間での宅配に取り組んでいます。例えば、モバイルワールドは 30 分以内、FPT ショップは 60 分以内、Tiki は 2 時間以内に宅配するサービスをうたっています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

- Giao hang nhanh は、ホーチミン市（その面積 6,000 m²）およびハノイ（4,000 m²）で自動商品仕分け装置を備えた倉庫を稼働しており、1 日以内の宅配率を以前の 60%から 85～90%に引き上げる見込みです。
- 配達時間を短縮するため、多くの事業者は他社と提携する道を選択しています。例えば、Sen Do は、GrabExpress と協力して「3 時間以内に宅配」というサービスパッケージを展開し、EMS は Lalamove と提携して市内で 2 時間以内に宅配するサービスを開始しました。

急激な成長を遂げるベトナムの E コマースと宅配市場ですが、課題もあります。一つは、倉庫の容量不足や時代遅れの倉庫管理システムのため、保管および倉庫管理コストが高止まりしていることです。そのため、注文金額に対する配送費用の比率が相対的に高くなっています。もう一つの課題は、EC 商品の配達時に購入者の 80%が代金引換を利用し、ユーザーの返品率が推定 30%と高いことです。これは宅配事業者に毎年 5～10%の追加運用コストを強いる結果を招いています。このように課題もありますが、E コマース市場の毎年 40%の成長に伴い、付随する宅配市場は大きな可能性を秘めた市場と言えます。さらに Covid-19 の流行により、人々の「自宅での買い物」という新しい消費習慣が徐々に形成されています。Nielsen の調査によると、消費者の 64%は移動自粛期間の終了後もオンラインによるフードデリバリーサービスを引き続き利用し、同 63%はオンラインで買い物を続けると回答しています。



【写真・動画提供：JVRC】

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。